

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康推進課
事業名	インフルエンザ予防接種費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	20,076	20,520		20,481			20,481	405
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	20,076	20,520		20,481			20,481

事業概要	インフルエンザの予防接種が高齢者の発病防止や特に重症化防止に有効であることから、65歳以上の高齢者及び60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある人を対象に、インフルエンザ予防接種を実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	インフルエンザの予防接種を促進することにより、高齢者の発病防止や特に重症化を防止し、高齢者の健康の保持を図る。		
現状と背景	平成6年の予防接種法改正により開始	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	環境衛生課
事業名	狂犬病予防事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	387	338		338			338	▲ 49
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	387	338	338			338	▲ 49
一般財源								

事業概要	狂犬病予防法に基づき、4月に狂犬病予防集合注射を公民館等で実施。動物病院に鑑札、注射済票の交付を委託し、新規登録、死亡、登録事項の変更や鑑札等の再交付手続きは随時行っている。	今年度見直し事項	
事業目的	狂犬病の発生を予防し、公衆衛生の向上を図る。		
現状と背景	近年、室内犬が増加しており、飼い主の認識不足等で予防注射をしない犬が増加傾向。接種率の向上に努める。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康推進課
事業名	予防接種費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	77,139	67,876		61,997	5,068		67,065	▲ 10,074
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	77,139	67,876		61,997	5,068		67,065

事業概要	子どもの感染症を予防することで、子どもの健康の保持増進を図る。	今年度見直し事項	平成26年10月～ 水痘予防接種追加
事業目的	予防接種は体の中に免疫抗体を作り、感染症予防、発病予防に高い有効性が認められている。特に定期の予防接種は、感染すると重症化、蔓延化しやすい疾患の予防のためであり、予防接種を行うことにより乳幼児の健全な成長発達を図る。		
現状と背景	予防接種法の改正により、随時対象ワクチンの見直しが行われている。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康推進課
事業名	新型インフルエンザ対策事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	201	201		201			201	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	201	201		201			201

事業概要	今後想定される新型インフルエンザの発生に備え、薬剤及び防護具・衛生資材等の備蓄を行うとともに、市の行動計画を随時見直し、感染拡大防止に向けた体制を強化する。	今年度見直し事項	
事業目的	1. 新型インフルエンザの感染拡大防止 2. 新型インフルエンザのまん延時での、必要な市役所業務の継続		
現状と背景	病原性が高い新型インフルエンザや同様な危険性のある新型感染症の発生に備え、平成24年5月に新型インフルエンザ等対策特別措置法が公布された。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康推進課
事業名	予防接種費補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	361	552		483			483	122
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	361	552		483			483

事業概要	里帰り等により、市と委託契約を結んでいない医療機関で定期予防接種を受けた者に対して、その費用を助成する	今年度見直し事項	
事業目的	里帰り等のやむを得ない事情により県西部で予防接種を受けられない者に対し、公平なサービスを提供する。		
現状と背景	市と委託契約を結んでいない医療機関で定期予防接種を受ける場合、自費での接種が必要となる。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康推進課
事業名	小児インフルエンザ予防接種費助成事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,851	2,747		2,747			2,747	▲ 104
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	2,851	2,747		2,747		2,747	▲ 104

事業概要	就学前の子どもの保護者に対して、インフルエンザ予防接種費用を助成し、罹患と重症化を予防する。	今年度見直し事項	
事業目的	インフルエンザの流行が危惧される今日、感染力も強く、重症化しやすい疾患を予防するための注射を、より接種しやすい環境をつくることで、子どもの健康管理の強化を図る。		
現状と背景	70%以上の接種率がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康推進課
事業名	風しんワクチン予防接種費補助金
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,280	528		528			528	▲ 752
財源内訳	国							
	県	640	264	264			264	▲ 376
	市債							
	その他							
一般財源	640	264		264			264	▲ 376

事業概要	風しんの流行による悪影響が、出生した子どもに及ぶことを未然に防ぐため、抗体検査の結果抗体価が低かった者に対して、風しんワクチン接種への助成を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	風疹が流行し、妊婦が風しんウイルスに感染すると、出生する子どもに先天性風しん症候群の発症が懸念される。これを防ぐため、検査の結果抗体価が低かった者に対し、風しんワクチンの接種を促す。		
現状と背景	風しんが都市部を中心として全国的に流行し、県内でも感染事例が報告されている。国の調査によると20～40代の女性の4%が風しんへの抗体を持たないほか、11%が感染予防には不十分である低い抗体価であり、ワクチンの接種を必要としていることが分かった。また、患者の7割以上は男性であることから、男性への接種勧奨も重要な課題である。	その他	先天性風しん症候群とは、免疫のない女性が妊娠初期に風しんに罹患した際、風疹ウイルスが胎児に感染して、新生児に難聴や心疾患、白内障や緑内障等の障がいや及ぼすことである。現在、風しんワクチンの定期接種(公費負担)は、幼児が対象である。昭和54年度以前に生まれた男性などは接種を行っていない年齢層であり、流行の原因の一つとされている。

会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	健康推進課
事業名	高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		8,760		8,760			8,760	8,760
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		8,760		8,760			8,760

事業概要	高齢者が発症すれば重症化の恐れのある肺炎を予防するため、65歳以上の特定の年齢の者及び60歳以上64歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある者を対象に、成人用肺炎球菌ワクチンの接種を実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	ワクチン接種により、肺炎を発症する高齢者を減らすことを目的とする。		
現状と背景	予防接種関係法令の改正により、平成26年10月1日より実施することが決定された。	その他	B類定期予防接種に位置付けられることから、接種費の3割相当について交付税措置がある見込み。



会計	10	一般会計
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費

所管課	環境衛生課
事業名	動物愛護事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		81		44			44	44
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他		81	44			44	44
一般財源								

事業概要	①犬の鑑札および注射済票への鬼太郎イラスト利用による着用率向上による迷子犬の低減 ②看板やのぼりによる適正飼養の啓発活動によるエサやりによるみだりな繁殖、周辺生活環境の悪化防止	今年度見直し事項	
事業目的	動物愛護法に主旨に従って人と動物が豊かに共存できる社会を目指す。		
現状と背景	①飼い犬、猫への飼い主のわかる名札着用率が低く、迷い犬、猫が飼い主のもとに戻れない問題がある。②野良犬や猫へのエサやりが後を立たず、みだりな繁殖や周辺生活環境の悪化が問題となっている。	その他	